

まちの声



今回の「まちの声」は、1区16町内にお住まいの「川原 信弘さん」から、お話を伺いました。



Q 議会だよりを読んでいますか？感想をお聞かせ下さい。

A 読んでいます。同年代の議員が多いので、どのような質問をされているのか関心があります。議会だよりや、町の広報は町の情勢や動向が分かり大切のものだと思います。特に議会だよりは様々な問題を提起し、町の為に議論しているのが分かります。

Q 今の妹背牛町は住みやすいですか？日頃感じることはありますか？

A 住みやすい町だと思います。洪水や、山が無いので大雨による地すべりもなく、大雪による交通麻痺や雪災害が、本当にない町です。昔から見ると地球温暖化によると思われる気候の変化で、夏場の気温は本州並みになり夏日の続く日が多くなってきました。ただ、一年を通して四季を感じられる妹背牛はいい環境だと思います。

Q これからの妹背牛町についてどう思いますか？今後、必要と思う事がありますか？

A 米を中心に農作物は、本当に美味しいので広くPRしてもらいたい。

たい。住宅に関しては若者が住める住宅が少ない。職場の同僚も妹背牛には住める場所がないと言っている。隣町に住んでいる人がいる。高齢者住宅も必要ですが、人口増加を考えれば今風スタイルの住宅も必要だと思います。



Q 議会だよりにご要望等がありますか。また、他に何かあればお願いします。

A 議会だより特別号のようなものが年に一回程度できたらいいと思う。内容は質問と答弁の集約集のようなもので、年四回の定例会の一般質問が一度に見られる年四回の議会だよりを取っておくのも大変なのです。

編集後記

秋も深まり冬支度をする季節となりました。町の大きなイベントである夏祭りも、秋の文化祭も2年続けて中止となった事でした。早く本来の日常が戻ってくることを願うばかりです。

さて、今回の議会だよりは、9月に行われた第3回定例会を中心に掲載いたしました。十月末の決算特別委員会の掲載は次号になります。記事が少ない分、この号は通常より二週間早くお届けできることとなりました。

おわりに、広報委員会は、町民の皆様により一層見やすくわかりやすい紙面づくりを心がけてまいりますので、ご意見があれば広報委員、または議会事務局（直通 ☎ 3418586）までお知らせください。また、ぜひお気軽にいらしてください。



広報特別委員会

- 委員長 佐々木和夫
- 副委員長 田中 春夫
- 委員 渡辺 倫代